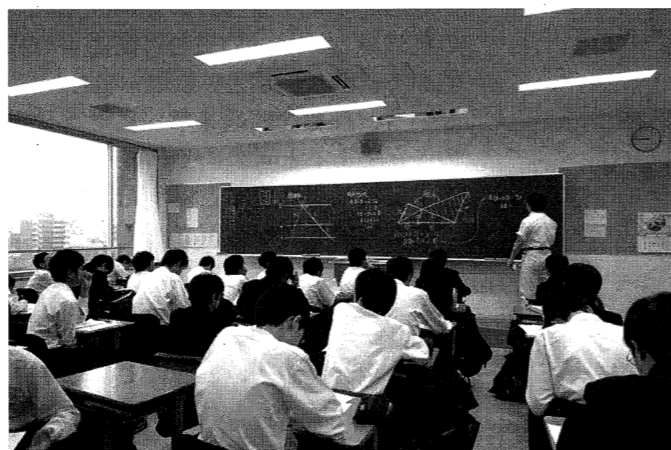


～生徒の夢は学校の目標～

海城中学校・高等学校教頭インタビュー



中田教頭先生



授業風景

水戸アカデミー 1891年に創立され歴史と伝統を持ち、毎年、国公立大学をはじめとする難関大学への合格者を多数輩出している海城中学校・高等学校ですが、今までの教育方針をもとに今後更に新しい改革がなされるのではないかとということで、今日はお伺いしました。まずは教頭先生の経歴をお伺いしたいのですが。

中田教頭 中高一貫の男子校を卒業後早稲田大学文学部に進学し、中世日本文学を専攻し修士・博士課程を修了しました。その後縁あって海城中の教職に就き、以来20年間教壇に立っています。

水戸アカデミー 20年間教壇に立たれているということは、教育改革がスタートした当初から生徒の様子や学力の変化などを見てこられたということですね。具体的に貴校の教育理念、教育方針をお聞かせ下さい。

中田教頭 本校は、「国家・社会に有為な人材を育成する」という建学の精神のもと、現在はリベラルでフェアな精神を持った「新しい紳士(ジェントルマン)」の育成に取り組んでいます。1991年に創立100周年を迎え、その翌年を「改革元年」と位置付け、「もう一度建学の精神に立ち戻ろう」「初心に帰ろう」という考えのもと、新しい時代に適応できる「国家・社会に有為な人材の育成」を目標に、現在も教育改革を進めております。

水戸アカデミー 新しい時代に適応できる有為な人材の育成ということですが、様々な社会情勢の変化が起こる時代に求められる人材について具体的にお聞かせ下さい。

中田教頭 我々が生きる新しい時代は、世界がグローバル化し、日本国内においても、高度成長期を過ぎ社会が成熟化するに伴い、人々の価値観が多様化しています。このような時代が求める有為な人材とは「人間力と学力のバランスのとれた人間」だと考えております。ここで言う「人間力」「学力」は新しい時代が要請する「新しい人間力」「新しい学力」でなくてはなりません。それと同時に今まで培ってきた旧来のものとのバランスも大事です。

水戸アカデミー 「新しい人間力」「新しい学力」とはどのようなものでしょうか。

中田教頭 人や物、資本、情報が国境を越えて行きかう現代社会においては、国や文化、民族などが異なる人々に関わりを持たなければなりません。そのなかで求められる「新しい人間力」とは、お互いの異なる部分を理解し、尊重した上で共生していく能力であり、具体的には対話的、ダイアログ的なコミュニケーション能力であると思われます。

また、同質の者同士では、物事が以心伝心でうまく伝わり、物事がスムーズに進行しますが、異質な者同士では物事がうまく伝わらなくトラブルが起こることがあります。しかし、異質であることは、そういったマイナス面だけではなく、お互いの良い部分を引き出し合い、それらをうまく重ね合わせれば、「1+1+1」が4にも5にもなります。新しい価値の創造やシナジー効果を可能にする協働、コラボレーションの力がそれを可能にします。続いて「新しい学力」とは、自ら課題の設定をし、調査、熟考、価値判断をし、表現するという、複雑な問題を解決に導く「Critical Thinking(クリティカル・シンキング)」の力のことであると考えます。従来必要とされた学力は、体系だった知識を獲得し、それらを速く正確に引き出すという記憶系の学力であり、それを養う学習形態としては、教科書で覚える系統学習が重視されてきました。しかし、社会が複雑化した現代では、複雑な問題を解決していく問題解決型の能力が求められ、「クリティカル・シンキング」の力が不可欠なものとなっています。

水戸アカデミー 現在の若者が弱いとされているコミュニケーション能力、ディスカッション能力、探求能力などを培うことは、生徒の将来を考えるととても重要ですね。では、具体的に「新しい人間力」を培うために、どのような授業が行われているのでしょうか。

中田教頭 体験学習を通して、コミュニケーション力、人間関係力を育んでいく本校では、中学1・2年で、アメリカで開発されたPA(プロジェクトアドベンチャー)とDE(ドラマエデュケーション)という体験プログラムを実施しています。PAは仲間と共に、身体を動かす中で、コミュニケーション力、コラボレーションの力を身につけていくというプログラムです。様々な課題に取り組む中で、上記二つの力以外に、物事にチャレンジするときには、必ず信頼関係が結ばれた仲間のサポートが必要であるということを学びます。課題の終了後には必ず振り返りを行い、意見を述べ合い、「気づき」を持たせ、それを一般化して普段の生活の中で活用させます。また、「ピーイング」という作業を行わせ、互いの信頼関係に基づき自分たちのルールを作ることも重視しています。

また、DEでは演劇の手法を利用したコミュニケーション能力向上のための体験学習を行います。生徒をグループに分け、小説の中の場面を演じて、デジタルカメラで写真を撮り、その写真を互いに批評することで、外側からの視点で、人と人の距離間や人の視線の意味、登場人物の内面を身をもって考えさせたりしています。

水戸アカデミー では、「新しい学力」についてはどうでしょうか。

中田教頭 新しい学力を培うために中1～中3までの週2時間、社会科の時間に、課題を設定して生徒自ら取材に行かせ、文献やインターネット等で情報収集し、論文やレポートを作成する総合授業を行っています。中1から一人で取材に行かなければならず、とても勇気が必要ですが、教員が取材のためのアポイントをとる電話のかけ方から指導しています。中3では卒論のテーマを自分で設定し、30～50枚の卒業論文を各自執筆します。これらの論文は社会的にも高い評価を得ており、大手メディアでも多数取り上げられています。論文のテーマは「2学期制導入について学校は何をすべきか?」「マクドナルドの商業戦略」「保育環境～理想の保育園とは」と様々です。また、理科では生徒参加型学習として、中学生の化学では20回もの実験が行われます。生物ではウニの生殖の観察、豚の眼の解剖実験といった授業が実施されます。物理ではコンピュータ制御のロボットなどの作成も行っています。

水戸アカデミー 教頭先生のお話を聞いて、常により良い人間育成を考えていることが我々にも伝わってきました。毎年、東京大学をはじめ難関大学に多数の合格者を出していますが、どのような進路指導をしているのでしょうか。

中田教頭 社会科の総合的学習を通じて「新しい学力」を養うためにも、基礎学力や多くの知識は必要不可欠です。カリキュラムはその点を考慮し、数学・国語・英語の主要3教科は教員の自主教材などを利用して、基礎学力を鍛え上げています。センター試験レベルでは基礎知識が中心になりますし、国公立大学の二次試験では総合的な学習で身につけた高い思考力、判断力、分析力、記述力が生かされます。つまり、基礎学力と総合的学習によって培われた「クリティカル・シンキング」の力を中学の段階から身につけさせることが、結果として大学進学実績にもつながっているようですね。また、現在のように多様化した大学入試を突破するためには、志望校を早期に決定することが重要であり、生徒の志望決定のため低学年から資料を提供しています。

水戸アカデミー 6年間の中高一貫校ということでは「中だるみ」という問題や、授業についていけない生徒も出てくるかと思いますが、どのような対応をしていますか。

中田教頭 「中だるみ」については、学習意欲、モチベーションをいかに維持させるかが重要であり、そのために、本校では中1の段階から総合的学習で将来の仕事について考えるきっかけを与え、「プロフェッショナルとはどういうことか」といったようなことなどについて話してもらうために多数の卒業生・著名人を招き、講演を開催するなどのキャリア教育を実施しています。また、勉強がうまく進んでいない生徒については、補習・講習などをこまめに実施しています。また、学期毎に全体保護者会があり、事前に生徒と面談をして学習状況のチェックを行い、双方の意見を踏まえ処方箋を書いていきます。

水戸アカデミー 入試関連のお話に移らせて頂きますが、一般入試については、2011年度から生徒募集を変更されましたが、やはり少子化による競争激化のなかで、優秀層の獲得を考えてのことでしょうか。

中田教頭 今年の入試から高校募集を停止し、完全中高一貫化してカリキュラムの能率化・効率化を高めています。背景には、大学全入化の時代を迎え、浪人生の減少により、現役生をターゲットにした予備校の現役校化、都立高校の改革により公立高校が大学入試実績を上げてくる中で、私立高校が自分達の存在を明確に示すためには、現役合格の実績がないとなかなか評価されないという現実があります。そうした中で本校も、カリキュラムの再編をしなければならぬということになりました。同時にこれまでの共生教育をさらに促進させ、国際社会で活躍できるグローバル人材を育成する学習環境を設定するべく、今年度から、海外で貴重な生活体験、学習体験をしてきた子ども達を中学で一学年30人受け入れることにしました。

水戸アカデミー 遠方から貴校に通われている生徒もいると思いますが、今回の東日本大震災の発生に伴い学校の危機管理についても保護者の方の気になる部分ではあります。対応、施設設備等をお聞かせ下さい。

中田教頭 この地震を契機にして、「緊急地震予報」システムを採用致しました。また、生徒一人一人が他人任せではなく、自覚的に的確な行動がとれる指導を大切にすることを大原則にしています。緊急連絡については、緊急連絡システムであるNTTの「フェアキャスト」とホームページを活用して、情報を可能な範囲で速報する体制をとっています。備蓄品については、全生徒分の保存食と飲料水（3日分）、簡易ブランケット・トイレなどがあり、その他にも必要性や質を十分に吟味しながら、毎年、整備の充実に努めています。

水戸アカデミー 今後の貴校の取り組みについてお聞かせ下さい。

中田教頭 西欧のエリート養成で使われているIB（国際バカロエア）DP（ディプロマプログラム）というプログラムがあります。西欧伝統の人文主義的な教養を中等教育レベルで持たせるもので、国際化時代の育成プログラムとして確立されています。この20年間の改革で基盤はできましたので、今後はこのようなプログラムを研究して哲学的思考の訓練もさせつつ、あくまで進学校としてインターナショナルスクールでもなく、IB認定校でもない第三の道を進みながら、グローバル人材の育成を果たしていきたいと考えています。

水戸アカデミー 最後に、海城中学校高等学校を目指す生徒、御父母にメッセージを頂けますか。

中田教頭 そうですね、受験勉強をされていて辛い部分もあるかと思いますが、学びの究極のかたちは、ものすごいものを見たり、人物に会ったりして、その魅力にとりつかれていき、それがモチベーションとなり物事に没入していくことだと思います。強い憧れが苦しみを乗り越えさせたり、辛さを楽しいものに転化させるきっかけとなります。ただただ辛さを辛さとして受けとめるのではなく、プラスのかたちで転化出来るようにセルフコントロールしていくとよいですね。

水戸アカデミー 本日は有り難うございました。

インタビューを終えて

海城中学校高等学校は新宿区大久保に位置し、新大久保駅から徒歩5分程度であった。海城中学校高校は都心にもかかわらず100m競走もできる非常に広い校庭を持っている。インタビューに伺った時間が丁度お昼休みと重なったということも多く多くの生徒がその校庭でスポーツなどをしていた。生徒はみな目を輝かせ生き生きとした表情をしていて、街をぶらつく最近の若者達の対極にいるように見受けられた。今回のインタビューの中で、中田教頭先生が常に生徒の指導を考え、より良い人間形成を進めていこうという気持ちが津々と感じられた。また、複雑化する社会を生き抜くことが出来る真のリーダーを育成するため学校改革に熱心に取り組んでいる様子からは、生徒一人一人の将来をすばらしいものにしたいという思いが伝わってきた。これこそが毎年一流大学に多くの生徒を送り出している理由なのではないかと感じた。とても紳士的に応対していただき、教頭先生の生徒への思いやりが伝わってくるインタビューであった。

大学入試結果

国公立大学

総数 153名 現役 86名		
大学名	総数	現役
東京大学	34	24
京都大学	18	11
東京工業大学	14	10
筑波大学	8	5
北海道大学	8	2
新潟大学	8	2
東北大学	7	5
群馬大学	7	4
埼玉大学	6	5
茨城大学	6	5
富山大学	6	5
山梨大学	4	2
長野大学	4	2
岐阜大学	3	2
静岡大学	2	-
愛知大学	2	-
岐阜国際大学	2	1
愛媛大学	1	-
徳島大学	1	-
香川大学	1	-
高松大学	1	-
徳島文理大学	1	1
愛媛大学	1	-
高松大学	1	-
岡山大学	1	-
広島大学	1	-
山口大学	1	-
国公立大学医学部合計	31	12

私立大学

総数 875名 現役 501名		
大学名	総数	現役
早稲田大学	200	110
慶応義塾大学	137	96
明治大学	103	63
東京理科大学	88	59
中央大学	72	36
立教大学	44	33
五教大学	32	14
日本大学	17	7
法政大学	15	10
順天大学	14	7
日本医科大学	11	1
昭和大学	10	5
青山学院大学	8	3
学習院大学	7	4
日本大学	7	1
立教大学	7	5
国際大学	6	1
聖光学院大学	6	5
東洋大学	6	2
聖光学院	6	-
聖光学院	5	5
成城大学	5	2
北里大学	4	2
東海大学	4	1
国際大学	4	2
聖光学院	3	2
聖光学院	3	2
聖光学院	3	1
聖光学院	3	2
聖光学院	2	-
聖光学院	2	1
聖光学院	2	-
私立大学医学部合計	78	22